

授業

ELC English Learning Center 夏学期の間、私は Rochester Institute of Technology の English Learning Center で英語を学ぶことになった。Placement Test と言われる英語能力試験を受けた結果、私は High intermediate class に振り分けられた。そして、私は High intermediate class では英語を集中的に学んだ。授業は 3 種類あり、それらは Speaking & Listening、Reading & Writing、Language Analysis であった。Speaking & Listening では英会話を通して学問的なプレゼンテーション能力、英語の語彙、英語の発音、リスニング能力を学んだ。TED Talks というあらゆる分野のプレゼンテーションを無料で視聴することができる教材を使用した。この授業では Flipped class という手法を用いた。Flipped class とは反転授業と直訳する。ビデオを通して教室の外で学び、教室内では学生がビデオを視聴して学んだことについて討論や発表をする。Flipped class のメリットは先生が学生に個人的な指導をすることができることだ。我々学生は英語でそれぞれ興味があるテーマについて調べ、その内容についてビデオを作成した。ビデオを YouTube にアップロードし、学生は教室外でビデオを視聴し、教室内でその内容について討論した。この授業形態は非常に革新的だと感じた。学生の進度に合わせて先生は課題を設定することができる。Reading & Writing では主に早く英語の文章を読む方法、学問的な文章を書く方法を学んだ。また、Speaking & Listening の授業と同様に討論をすることもあった。重要な部分はどの部分に書かれているのか討論を通して理解することができた。学生同士で話し合うことは重要なことだと感じた。Language Analysis は英文法に関する授業であった。英文法の授業は私の最も好きな授業であった。英文法が例文の中でどのような使われ方をするか先生と学生との会話を通して理解できたことは非常に楽しかった。

秋学期では Advanced class で英語を勉強した。授業は夏学期と同様に 3 つの授業を履修した。しかし、授業の内容はより Academic の内容に近いものばかりであった。特に、Reading & Writing では、我々は筆者が文章を書いた目的は何か、その文章の読み手は誰かに焦点を当て、夏学期同様に討論を行った。

Academic Class 秋学期では RIT の授業を 1 科目履修することができたことになった。私は Attitude & Social Cognition という 3 年生の心理学の授業を履修した。私がこの授業を履修した理由は 2 つある。1 つ目は授業の内容である。私は心理情報学専攻であり、コミュニケーション心理学に興味がある。Attitude & Social Cognition 私の興味のある分野であったため履修を決めた。2 つ目は授業方針である。この授業はグループ討論を重視している。1 チーム 6 人のグループで自らが予習した内容や先生が提示したテーマについて討論することが主体となる授業である。またテストは選択式のテストであるが、個人でテストを受けた直後にチームで全く同じテストを受ける。チームの討論を通して答えをすぐに導き出せる方法も興味深いと思った。いままでに受けたことがない授業だと感じ、この授業を履修した。授業内容は自分にとって難しい内容ではあるが授業中により多く発言をするように心がけた。

Deaf Culture

RIT には 18000 人近くの学生が在籍している。その中で 1200 人以上の学生は聴力に障害を持った学生だ。Academic class のクラスにも聴覚障害を持った学生が授業を履修している。私のグループは 6 人のグループであるが、そのうち 3 人は聴覚障害を持った学生だ。しかし、そういった学生は聴覚障害を持たない学生と同様に授業を受けることができる。授業を担当する教授の隣

には手話による通訳を担当する人が立っている。彼らは教授が話したことや学生の発言を、聴覚障害を持った学生に向けて通訳する。他にも、教室にはクラス内のすべての発言をパソコンによって記録する役目を持った人がいる。また、聴覚障害を持ったある学生にはタブレットが手渡され、そのタブレットにはパソコンによって記録された発言が瞬時に転送される仕組みになっている。そのため、あらゆる人が一緒に授業を受けることができる。誰もが平等に一つの授業を受けることができる RIT の授業形態には驚いた。

クラブ活動

秋学期からはクラブ活動に参加した。私は 5 つのクラブに参加した。それらはテニスクラブ、アカペラクラブ、カポエラクラブ、Asian Culture Society、Japanese Conversation Table である。アカペラクラブには 100 人近くの学生が所属している。その中で 7 つのグループがあり、私は「雷 Kaminari」というグループで活動している。そのグループは日本の曲だけを歌うグループだ。私はアカペラクラブを通してあることを学んだ。それは学生が望むとそれがすぐに実現できることだ。Kaminari はクラブが誕生してから 1 年も経っていないそれにもかかわらず 15 人の学生がグループで活動している。このようにある学生がクラブを作ると、他の学生は後に続くように集まる。また活動するための環境も整っている。RIT の図書館には防音室があり、音漏れを心配することなく歌うことができる。私は日本の学生に比べて、アメリカの学生はあらゆることに対して好奇心を持っていると感じた。また、カポエラとはブラジル発祥のスポーツで格闘技、ダンス、音楽が融合したスポーツだ。日本ではあまり馴染みのないスポーツだが、このような珍しい経験できることは RIT の良い部分だと感じた。Asian Culture Society では多くのアジア出身の学生やアジアに興味がある学生が集まってレクリエーションを通して交流する。アカペラクラブ同様 100 人近くの学生が Asian Culture Society に集まる。そのクラブを通して多くの学生と知り合うことができたことは非常に良かったと思っている。Japanese Conversation Table とは日本に興味が集まり交流するクラブだ。アニメの影響などで RIT には日本に興味を持っている学生が多い。

旅行

New York City 6 月 4 日はアメリカの独立記念日である。私は連休を利用して New York City に行った。New York City は Rochester からバスで約 7 時間かかる。私は Times Square、Central Park などに訪れた。Times Square では驚くほどの数の広告を見ることができた。巨大なディスプレイに映し出された広告が印象的だった。図 1 と図 2 の 2 枚の写真は Times Square で撮ったものだ。これらの写真の右半分を見てわかるように Times Square の写真を撮ると同じ位置で撮った写真にもかかわらず、異なった絵になる。私はこれらに対してとても面白いと感じた。しかし、New York は非常にゴミの多い街だと思った。特に地下鉄はゴミの匂いが非常に強いと感じた。これは New York City が抱える大問題だ。独立記念日には New York City に住む友人の家でごはんを食べた。夜には独立を祝う花火を観に行った。



図1 Times Square(1)

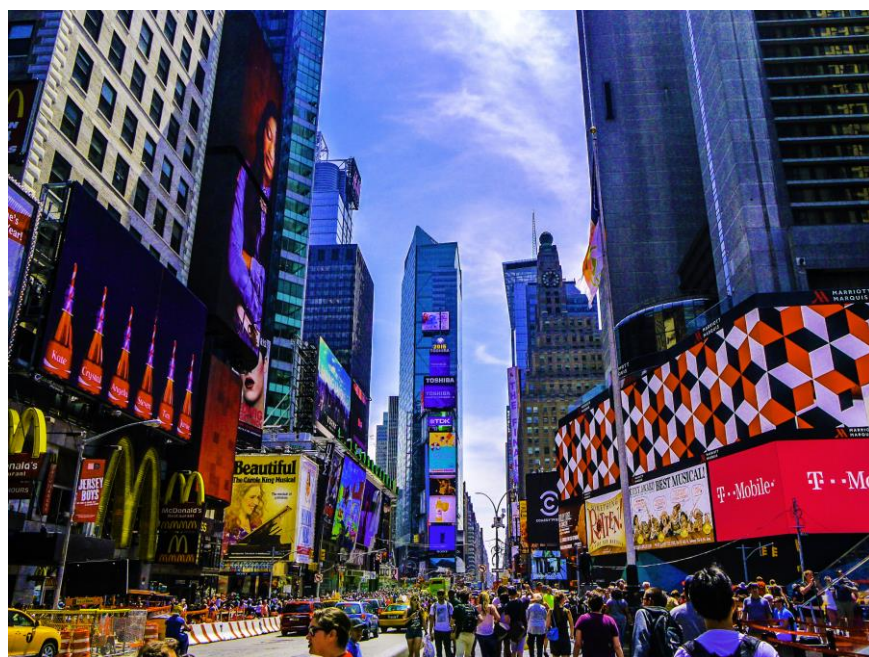


図2 Times Square(2)

West Coast Road Trip 夏休みには西海岸を訪れた。友人の車で Seattle から Oregon の Portland を通り San Francisco、Los Angeles、Las Vegas、Grand Canyon を旅行した。この旅を通してアメリカが持つ自然の素晴らしさに感動した。特に Oregon から California にかけて通じる Route 101 では都市では見られない景色を見ることができた。特に Red Woods という巨大な赤い木々がある森で見ることでできた夜空は今まで見たもので最も綺麗だった。アメリカのガイドブックには New York City や Los Angeles などの都市が掲載されていて、有名な観光名所だが、私はアメリカが持つ自然の方が好きだと感じた。